



SEIMEI GAKUIN (HANABISHI)



# SEIMEI GAKUIN 清明学院新聞

発行・編集 169号  
清明学院高等学校新聞部  
大阪市住吉区墨江2-4-4  
06(6673)8181



## 「校訓を胸に抱いて」

清明学院高等学校

理事長  
学校長

天野久



皆さん卒業おめでとうござ  
います。心からお祝い申し上  
げます。

この3年間を振り返ります  
と、様々な出来事が胸中によみ  
がえって来るのではないでしょ  
うか。清明学院高等学校での生  
活は決して楽しいことばかりで  
なかつたと思います。多くの課  
題をこなす毎日、様々な形で実  
施される講習や補講に苦勞し  
た人、また、親や友人と考えが  
合わずぶつかり、悩んだ人も  
たのではないのでしょうか。

しかし、多くの楽しい思い出  
も出来たはずで、クラスが団  
結し、成功に導いた体育祭や文  
化祭、仲間とともに一つの目的  
に向かって努力、工夫を重ねたク  
ラブ活動、ハワイへの修学旅行で  
は、初めて海外旅行を経験した  
人も多いのではないしょうか。

いよいよ、皆さんは本校を卒  
業し、新たな環境での生活を始  
められるわけですね。大学に進学  
し、卒業を続ける人、専門学校に  
進み、卒業と同時に実務に就い  
て社会人としての生活を始める

人と、将来へのアプローチの仕方  
はそれぞれ異なる訳ですが、い  
つかなる状況においても、在学  
中に学び得た「清明力」を發揮  
し、自らの道を力強く歩んでい  
かれるものと信じております。

本日のこの卒業式は、皆さん  
の人生において大きな節目であ  
ります。この大切な時にあた  
り、今一度本校の校訓「強くあ  
れ」「正しくあれ」「優しくあれ」  
の言葉を紹介しておきたいと思  
います。

「強くあれ」とは、一般的傾向  
として人は劣をいとい、苦しいこ  
とを避けて通りがちです。しか  
しどのような時にあつても、常に  
高いところに目標を置いて、労  
を惜しまず努力し続け、最後  
までやり通す強い意志を持つこ  
とです。

「正しくあれ」とは、物事の是非  
非善悪を見極めることのできる  
正しい目と判断力を養うことの  
大切さを言っています。今後、皆  
さんを取り巻く環境はそれぞ  
れ異なるわけですが、今何をす  
べきであるかを十分に考えて、  
正しい判断を下されることを期  
待しております。

「優しくあれ」とは、常に他人  
を思いやる優しさを忘れること  
なく、日々生活を送ることが、真  
に豊かな人生を築き上げる大  
きな力であり、人の心の痛みが  
わかる、優しく、美しい心を持  
つた人になることの大切さを言  
った言葉です。

近年、皆さんを取り巻く社会  
には、様々な問題が控えており、  
その解決が求められています。  
例えば、科学技術は著しく発展  
し、私たちの生活はかつてないほ  
ど豊かなものになってきました  
。しかし一方では、他人を思い

やる豊かな心遣いの不足や、困  
難に打ち克つ強い意志の欠如な  
ど、人の心の在り方が問われ、生  
命の尊厳や、生きがいという人  
生の根源に関わる問題について  
も、改めて見つめなおす必要が  
生じています。

そして、このような時代であ  
るからこそ、「強くあれ」「正し  
くあれ」「優しくあれ」を校訓  
とする清明学院高等学校の卒  
業生である皆さんには、真に社  
会に貢献できる、これからの日  
本を担うべき人物になれるよ  
う、努力し続けていただきたい  
と思っております。

皆さんの本校における足跡は  
本当に充実したものでありま  
した。特に最高学年としてリ  
ドしたこの一年、より確かな歩  
みを感じさせ、進路に対する取  
組み、クラブ活動に対する情熱  
など、皆さんの活躍には目を見  
張るものがあり、そのひたむき  
な姿に深く敬意を表するところ  
です。

しかし、皆さんがその力を思  
う存分発揮できたのは、保護者  
の方々の暖かい愛情、友人の励  
まし、先生方の情熱があつたこ  
とを忘れないでください。また、  
卒業は皆さん自身の喜びであ  
ると同時に、皆さんの成長を見  
守つてこられた保護者の方々や、  
私たち教職員一同の喜びでもあ  
ります。どうか、今日のこの感  
概を生徒忘れることなく、本校  
の卒業生として自信と誇りを  
もつて、社会のために有為な、信  
頼される人物としてさらに大  
きく成長されることを願って  
います。

今後の皆さんの活躍に期待  
し、花菱会(同窓会)での再会を  
楽しみにしています。



## 新たなスタートを切るみなさんへ 3年学年部長 池田暢之

いよいよ卒業の日を迎えま  
した。思い起こせば、3年前、君たち  
はこの清明学院に入学してきま  
した。入学していきなり行った宿  
泊オリエンテーション、基礎体育  
頭髪検査等々、中学時代の様々  
な基準を持って入学してきたみ  
なさんですが、いきなり清明の基  
準を示されそれに順応するこ  
とに苦勞した人も多かつたので  
ないでしょうか。

当たり前のことを当たり前に  
することの大切さ。集団生活にお  
いて自己中心的な言動を慎むこ  
と



## 平成から新しい時代へ、自分を信じて PTA会長 南條忠

卒業生の皆さん、ご卒業おめ  
とどうございます。  
保護者の皆様、大切なお子様  
のご成長ならびにご卒業、心よ  
りお祝い申し上げます。

校長先生を始め先生方には  
卒業までの3年間、時には暖か  
く、時には厳しく生徒たちを支  
え、ご指導いただき誠にありが  
とございました。

さて、皆さんが過ごした高校  
生活ではさまざまなことがあつ  
たと思えます。  
修学旅行でハワイにいたり、  
勉強や部活、学校生活で友達と  
の絆を深めたりと、一人一人が  
この清明学院で過ごした時間  
が大切な思い出になったこと  
と思います。

これから新しい時代を生きて  
いく中で、進学就職と少しだけ  
社会に足を踏み入れる皆さんは、  
自分の考え夢を持つて生きてい  
くという自由を得る一方、様々な  
困難や理不尽な場面に遭遇する  
かもしれません。自分を見失つた  
時には、ここにいる仲間がいたこ  
とを思い出してください。

中学を卒業してで幼さが  
残つていた、入学当時から3年の  
月日が流れ、皆さん大人の顔に  
なつて、嬉しさを感じたのは言  
うまでもなく、頼もしさ心強さ  
を感じました。

ご存じの通り、この5月には  
新元号となることが決まつて  
おり、皆さんは平成最後の卒業  
生となります。いろいろな意味で  
この卒業式というのは忘れられ  
ない思い出になるはずですよ。

皆さんの心の中は、卒業を迎  
えるわくわく感、友達と離れて  
しまふ寂しさ、さまざまな気持  
ちで満たされているのではない  
でしょうか。

これから新しい時代を生きて  
いく中で、進学就職と少しだけ  
社会に足を踏み入れる皆さんは、  
自分の考え夢を持つて生きてい  
くという自由を得る一方、様々な  
困難や理不尽な場面に遭遇する  
かもしれません。自分を見失つた  
時には、ここにいる仲間がいたこ  
とを思い出してください。

選択もその後の生活設計も難し  
い時代になってきています。そん  
な時代を乗り越えるには、正確な  
情報・知識を出来るだけ多く得  
ること、何事にも積極的にチャ  
レンジすることです。「めんどく  
さいなあ」の一言ですべてが台無  
しになります。辛いなあ、大変だ  
なあと思うことがあつてもそこ  
から逃げることなく、その辛さ  
を楽しんで思えるように自分から  
行動し、チャレンジして欲しいと  
思います。

卒業に際して、様々な方から頂  
くお祝いのメッセージや担任の先  
生の言葉を最後のヒントとし、自  
分なりの基準、これから生きて  
いくうえで方向性を定めてこ  
の清明を卒業し、次のスタート  
をより良いものにしてもらいた  
いと願っています。



転禍為福

進路指導部長 谷岡 展行

「災」。みなさんが3年生を過ごした平成30年の漢字には、この文字が選ばれました。みなさんはこの文字を見て何を思い浮かべるでしょうか？

「災」といえば、日本列島が相次ぐ自然災害に見舞われたことが思い浮かびます。特に6月の大阪北部地震や9月の台風は、みなさんの学校生活や日常生活に大きな影響が出たこともあり記憶に残っています。

進路指導部の立場からすれば「災」という漢字で思い浮かぶのは、今年度の入試についてです。今年は「私立大学における入学定員の厳格化」の影響で全国の受験生が大変な戦いを強いられています。これは清明学院の3年生にとっても例外ではありません。苦戦してきたみなさんにとつては「災」といえるでしょう。

これからみなさんが出て行く社会がかつてないスピードで変化しているということも「災」と思われるかもしれません。日本の野村総合研究所は2015年に「日本の労働人口の約49%が、技術的には人工知能やロボット等により代替できるようになる可能性が高い」と予測しています。さらに昨年開催されたWorld Economic Forumでは、IT技術が人間にとつてかわったことによる人余りやリストラが大きな問題として提起されています。そのとき発表された「仕事の未来に関する報告書」では、「今から2022年までの間に仕事で必要なスキルは42%変化する。単純作業記憶簿記などの必要性が下がる一方で、クリティカルシンキング、自発的な学習、分析的思考などの必要性が上がる。」ということが指摘されました。今までのやり方では通用しなくなる時代がすぐそこまで来ているのです。

しかし、転禍為福。「災」と思われるようなことも前向きにとらえ進んでいけば「災(さい)」は「幸(さち)」に変わります。みなさんは清明学院で「強くあれ。正しくあれ。優しくあれ。」の校訓のもと、たとえどんなに急速に変化している社会においても、変わらない大切なことを学んできました。それは「しっかりとあきらまざる」と「みんなを力に合せて一つのことをなす」と「相手を思いやる気持ち」です。そう、みなさんが「基礎体育」の授業で1年生のときに学んだことです。このことを心に刻み、培ってきた「清明力」をもって「災」を乗り越え、卒業後それぞれの場所で活躍してくれることを楽しみにしています。卒業おめでとうございます。

平成30年度 3年生 合格実績 (1月31日現在) ※合格実績数は延べ人数

Table with columns for University, Number of合格者, and Total. Lists various universities like 関西大学, 近畿大学, etc.

Table with columns for Faculty/Department, Number of合格者, and Total. Lists departments like 薬学・看護医療系, 神戶学院大学, etc.

Table with columns for Short-term University and Specialized School, Number of合格者, and Total. Lists 短期大学 and 専門学校.

Table with columns for Vocational University, Number of合格者, and Total. Lists 職能大学校, トヨタ神戸自動車大学校, etc.

合格体験記

近畿大学 生物理工学部 食品安全工学科

僕はサッカーをするためにこの学校を選びました。入学時はサッカーだけしていればよいと考えていました。しかし、僕は放課後クラブ活動をしているときにクラスの友達は勉強し、自分との差がどんどん大きくなっていくことに焦りがでてきました。そのときは悩みましたが、サッカーをする時間を減らしたくなかったので、先生の話をしっかり聞き、休み時間を上手く活用してクラブとの両立を意識して頑張りました。

11月にサッカー部を引退して落ち着く間もなく一週間後には摂南大学、次に近畿大学の入試が控えていました。今までサッカーをしていた時間を受験勉強の時間に変え、時間の限りひたすら過去問を解き勉強しました。その結果、二校とも合格することができました。

3年2組 杉林 悠真

甲南女子大学 看護リハビリテーション学部 看護学科

私が大学入試を意識し始めたのは3年生になってからです。春休みに自習登校に参加し、英単語や国語の語句を覚えるのに多くの時間を費やしました。授業が始まってからも、放課後は毎日学校に遅くまで残って勉強しました。それでも、受験が近づくと「もっと早くから勉強しておけばよかった」と後悔するほど、勉強量がまだまだ足りていないと思っていました。

私を受験を通して大事だと思ったのは、すきま時間の活用です。学校の休み時間や電車に乗っているとき、今までなら携帯電話を触っていた時間などを、暗記する時間に変えました。それを少しずつ積み重ねれば、覚えた分だけ自信につながるんだと気づくことができました。

3年3組 木谷 未来

京都産業大学 外国語学部 ヨーロッパ言語学科

私は清明学院に入学する前、私には勉強ができないものだと思い込み、努力をしたことがありませんでした。高校1年生時、初めての定期考査の1週間前に、友だちから放課後一緒に勉強をしないかと誘われ、得意な教科を教えたり、苦手な科目を教えて貰ったりしました。その努力の結果が出て、上位の成績を取ることができました。これを機に、私は次の考査でもっと上位に入りたいと思うようになり、自分に合った勉強方法を探しました。

まずは目標として、朝の小テストで毎回満点を取る、それから登下校の電車の中で英単語を覚える、模試などでわからなかった英単語や英文法をノートにまとめる、勉強に飽きてきたら家の周りを散歩して学んだことを頭の中で整理するなど、自分が実行して苦にならない勉強方法を継続して頑張ってきました。

3年4組 貫野 有希

『卒業を迎えて・・・』

前・生徒会長 置田 凌也

3年前の入学式。私たちは新たな生活への大きな期待を抱き、この清明学院高校の門をくぐりました。宿泊オリエンテーションではクラスメートと初めて顔を合わせ、本当に緊張しました。しかし、少しずつみんなとも打ち解けていき、今では忘れられない思い出です。体育の授業での「基礎体育」では当時はあまりの厳しさに戸惑いを隠せませんでした。しかし、今ではそれも大切な思い出になっています。

触れ、日本語ではなく英語で話すことにも挑戦したりと多くの貴重な体験をしました。3年生になると、自分の将来に向き合うという大変な一年を過ごしました。同級生が自分の決めた進路へ向かい努力している姿を見て励まされ、そして刺激されました。このように振り返ってみると、今の自分があるのは自分一人の力だけではなく、たくさんの友人、たくさんの先生方、そしてどんな時も私たちを支えてくれた家族がいてくれたからだと思います。本当に感謝しています。

2年生になると新たに後輩が入学し、自分たちも一人一人がしっかりと生きていけないという自覚を持つようになり、高校生活最大のイベントである修学旅行では初めてハワイという場所に行き、海外の文化に

卒業しても、私たちは清明学院高校での経験を忘れず、自分たちの未来へ向かって自分の足で力強く歩んでいこうと思います。3年間、本当にありがとうございました。